

若竹会

田宮会公報 若竹 木末氏

茶面 昔ハ世ノ表紙

神宮中五高等女学校ノ海カ うつてい

私付 ニノ学校ノ入学した

立派な姿ノ学校だノ気が

二日通リ見た中 三日目に 茶室の空に云

下や午して予ノ元

ニノ字真付 予付予しノ学校だ

当路 やや平点ノ木末氏は云ん

島任事をしてい

予が丸ノ学校は 島任事だノ

上級者付 島任事学校で

バリエーションの 三年生以上は

中し余工場 飛行機を

機ヒコウ機の 材料として

千ヨコレして をつんでい

ギノガミル

道路を 昔人

飛行機の材料にした

三ヶ^レ月^レ旅行^ノ時

横^濱が ぼろく^と おちて^くる^{こと}も

あつた

それ^がと^とか 頭^はう^かな [「]絶^事[」]

今^は若^い世^代が 大^活や^く の 斬^新が^のつ^てり^す

若^林会[」] 百^週年^との^こと

私^も本^業以^来 七^十年^はは^すぎ^てり^す

あ^のこ^ろは 若^かつ^たら^ない

人^形知^りが^あつ^たし

同^人誌[」] 百^レ十^レ年^もあ^つた

パ^ル十^年の^先端^で

エ^ッセ^イを^あけ^てい^よ

あ^の学^校が^フグ^リて^りす^のか^もし^らな^から^な

今^はは^エッ^セイ^をあ^けて

あ^のこ^とを^あつ^たす

2024
8/29